

令和 6年度予算見積調書

課室名：統計課
 担当名：企画指導・統計資料担当
 内線：2312 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P29	統計データ連携推進事業			一般会計	総務費	統計調査費	県単統計費	統計データ連携推進事業費	
事業期間	令和 6年度～ 令和 8年度	根拠 法令	デジタル社会形成基本法第9条、第14条		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築		SDGsゴール 16
					分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上		SDGsターゲット 16-6
1 事業概要			5 事業説明						
誰もが行政の持つ統計データを容易に収集・活用し、地域課題の解決、地域の活性化を図れるようにするため、分かりやすく利用しやすい統計データの提供を行う。 ア BIツールの試行的導入 1,350千円 イ 紙統計資料のデータ化 4,620千円			(1) 事業内容 ア 外部公開用BIツールの試行的導入による分かりやすい統計データの提供 1,350千円 イ 紙統計資料のデータ化による利活用できる統計データの拡充 4,620千円 (2) 事業計画 ア 外部公開ができるBIツールのライセンスを試行的に導入することで、データに不慣れな人でも見たい切り口ですぐに分析が可能な形式で県の統計データ等を分かりやすく提供する。 イ 紙媒体であるため、利活用しづらかった「埼玉県統計書」を機械判読可能な形式にデータ化したうえで、県のホームページで提供する。 (3) 事業効果 ア 統計データを分かりやすく提供することで、従来よりも効果的に統計データ等を発信することができることにより、統計データの利活用が推進される。 イ 企業や行政が、これまで利活用しづらかった統計データを容易に収集し、調査研究・分析等の場面で利活用することができるようになる。 【活動指標(アウトプット)】 ・機械判読可能な形式で公開される統計データの増加 ・BIツール等を活用して公開された統計データの増加 【成果指標(アウトカム)】 ・機械判読可能な形式で公開される統計データのDL数/年 10,000件 ・可視化された統計データの閲覧数/年 60,000件						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.9人=18,050千円 2,300千円×0.4人= 920千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	5,970							5,970	5,970
前年額	0							0	

事業内訳書

事業名	統計データ連携推進事業		
単位事業名	BIツールの試行的導入	予算額	1,350千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	1,350	1,350	
合計	1,350	1,350	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	1,350	1,350	BIツールの試行的導入に係る委託料
合計	1,350	1,350	

単位事業名	紙統計資料のデータ化	予算額	4,620千円
-------	------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	4,620	4,620	
合計	4,620	4,620	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	4,620	4,620	「埼玉県統計書」のデータ化に係る委託料
合計	4,620	4,620	